

決済動向

— 平成9年7月 —

(平成9年9月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

7月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.7万件（前年比+23.2%）、金額ベースでは316.0兆円（前年比+2.1%）となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は298.0兆円（前年比+2.4%）、民間の集中決済制度にかかる資金決済は13.1兆円（前年比-0.8%）となった。

7月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで10.8万件（前年比+66.9%）、金額ベースで293.3兆円（前年比+70.4%）となった。また、日本銀行における振決国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで6.7万件（前年比+62.1%）、金額ベースで326.5兆円（前年比+39.9%）となった。

7月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで56.0万件（前年比+6.7%）、金額ベースで4.8兆円（前年比-18.1%）となった。

7月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高8.5兆円（前年比-5.9%）、支払高7.6兆円（前年比+1.1%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱件数・金額をみると、7月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは43.5万枚（前年比-8.9%）、金額ベースでは4.4兆円（前年比-11.6%）となった。

7月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは413.3万件（前年比+6.7%）、金額ベースでは8.5兆円（前年比+6.8%）となった。

7月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは4.0万件（前年比+3.1%）、金額ベースでは38.7兆円（前年比+12.7%）となった。

3. その他

7月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は9.4万契約（前年比-9.9%）、月末の建玉数量は179.7万契約（前年比+10.8%）となった。

5、6、7月のS W I F T総送信件数（本邦分、月中合計）は、それぞれ264.5万件（前年比+13.2%）、259.2万件（前年比+14.6%）、254.4万件（前年比+2.9%）となった。

(信用機構局)